

PRESS RELEASE (2024/02/22)

九州大学筑紫地区「地域連携推進チーム」×大野城心のふるさと館 プレゼンツ  
ここふるサイエンスカフェ Vol. 9  
～科学の目を見た海洋プラスチックごみ問題～

九州大学筑紫キャンパスと大野城心のふるさと館は、科学の不思議・楽しさ・奥深さを、中学生・高校生を始め、多くの皆さんに気軽に知っていただくことを目的として、皆さんと考えながら科学への理解を深められる「サイエンスカフェ」を実施しております。

第9回目の講師は、九州大学応用力学研究所の磯辺 篤彦 教授です。ファシリテーターを応用力学研究所の竹村俊彦教授が担当します。



応用力学研究所  
磯辺 篤彦 教授

【開催日】令和6年3月8日（金）19:00～20:30

【場 所】大野城心のふるさと館 1階ジョーホール  
(大野城市曙町3-8-3)

【定 員】30名 ※申込多数の場合は抽選

【締 切】令和6年2月25日（日）

※申込方法は**大野城心のふるさと館 HP** からご確認ください

※定員に達するまで受付を行います。締切日以降の参加可否については、**大野城心のふるさと館**へ直接お問い合わせください。

<https://www.onojo-occm.jp/li/190/cocofurusciencescafe.html>



▲申込フォーム  
2月25日（日）まで

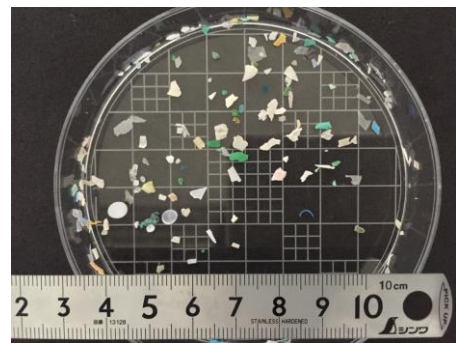
磯辺教授からひとこと：

九州大学筑紫キャンパス・筑紫地区地域連携推進チームと心のふるさと館による共働企画である「サイエンスカフェ」は、科学の面白さ、奥深さ、生活との結びつきなどについて、どなたでも気軽に学べる講座です。

今回のテーマは、近年新たな、そして深刻な海洋環境問題としてクローズアップされている「海洋プラスチック汚染」。プラスチックは、現代の私たちの暮らしに欠かせない存在ですが、軽くて丈夫なプラスチックの特性は、自然界に深刻な影響を与える厄介な汚染物質にもなりうるのです。

海に広がるマイクロプラスチックを含む海洋プラスチックごみの現状と、危がまれている環境リスクと将来

予測、そして今の私たちにできることを最新の研究成果を踏まえつつ、わかりやすく解説します。



採集された 5mm 以下のプラスチック片はマイクロプラスチックと呼ばれ、海洋生物や人への影響が懸念されている

【お問い合わせ】 大野城心のふるさと館

TEL:092-558-5000

FAX:092-558-2207

Mail:cocofuru@city.onojo.fukuoka.jp

九州大学筑紫地区事務部庶務課庶務係

TEL:092-583-8306

FAX:092-583-7060

Mail:srssyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp